

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和7年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）		担当課	係	まちづくり社会教育課	まちづくり推進係
事務事業名	協働推進事業（地域支え合い生活支援事業補助金）	事業予算費目			
総合計画上の位置付け	大綱	Ⅶ協働による持続可能なまち	款	02	総務費
	施策大綱	Ⅶ-1 地域コミュニティの形成	項	01	総務管理費
	基本目標	4 地域の特性を活かした安心して暮らせるはまづくりの推進	目	07	企画費
	主要施策	Ⅶ-1-2 活動支援の充実	事業	72	協働推進事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	各地域のボランティア団体、シルバー人材センター等を活用し、高齢者の生活支援を行おうとする地区まちづくり推進委員会に対し、その事業に要する費用の一部を補助することにより、中山間地域においても安心して住み続けることができる環境を整備することを目的とする。	事業の内容	【補助対象】 地区まちづくり推進委員会 【補助対象事業】 生活支援サービス（軽作業） 【補助対象経費】 利用者負担額又は利用者負担基準額（1,000円/作業員1人当たり1時間）いずれか大きい額を差し引いた作業費用及び作業用消耗品費 【補助額】 10/10 上限300千円
市民ニーズの把握状況	・地区まちづくり推進委員会の連絡会議での説明やすでにボランティア団体を有する地区まちづくり推進委員会と個別に協議を行った。 ・地域からの要望により令和7年度から上限額を150千円から300千円に拡充した。	市民参加・協働の有無 その内容	この補助金を通じ、草刈ボランティア団体の立ち上げがあった。

■事務事業の業績・推移（DO）

目標と実績			設定した目標				目標/実績		目標/実績		目標		目標				
							R6		R7		R8		R9				
			地域支え合い生活支援事業補助金申請団体の増加 (令和6年度～令和7年度累計17団体)					目標		7団体		10団体		10団体		10団体	
設定した理由・背景			地域支え合い生活支援事業補助金の活用によるボランティア団体の育成及び活動支援を促し、地域内における共助体制の構築の一助とする。また、新たなボランティア団体の設立の促進を図る。				実績		3団体		7団体						
			R6年度決算		R7年度最終予算		R8年度予算				市民1人当たりのコスト						
事業費		総事業費		255,880		1,650,000		1,800,000		R6		5					
		財源内訳		国県支出金								R7		34			
				地方債										各年度4月1日時点の人口			
				利用者負担・その他		255,880		1,650,000		1,800,000		R6		49,096			
				一般財源								R7		48,048			

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	中山間地域において高齢者世帯の困りごとである草刈り作業への活用が実績として多く、それを地域の課題として取り組む団体が増えてきた。 また、この事業を活用するための団体が立ち上がるなど地域内の共助体制も構築されてきていることから、引き続き事業の活用事例や取組への案内を行っていく必要がある。
--------------------	--

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和8年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	地域のボランティア団体も高齢化しており、希望があっても対応しきれない地域もある。自分の地域だけでは賅えないところについては、事業者や他地域の有償ボランティア団体の活用など他地域との協働や事業者との協働を行うことも考えられる。 また、高齢者世帯だけではなく、障がいのある方からの要望もあったことから、対象者の範囲についても今後検討していく必要がある。
---------------------------	---